

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

愛西市総合戦略推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県愛西市

3 地域再生計画の区域

愛知県愛西市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の総人口は、2000年の65,597人をピークに緩やかな減少局面に入ってきており、住民基本台帳によると2025年に60,228人となっている。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、このまま何の対策も講じない場合、全国的な傾向と同様に人口減少、少子高齢化が進み、2050年には42,323人になる見込みである。

本市の年齢3区分別人口割合をみると、15～64歳（生産年齢人口）は、1995年をピークに減少傾向にあり、2020年に34,703人となっている。15歳未満（年少人口）は、1995年まで急減し、2005年までは横ばい傾向であったが、その後は減少傾向にあり、2020年に6,871人となっている。65歳以上（老年人口）は継続して増加しており、2020年に19,255人となり、少子高齢化の傾向が続いている。

自然動態については、高齢化などの影響により、死亡数は増減を繰り返しながらも増加しており2024年に886人となっている一方、出生数は、増減を繰り返しながらも減少傾向であり2024年に259人となっている。本市では出生数が死亡数を上回る自然増の状況が2002年まで続いていたが、その後は、出生数が死亡数を下回る自然減となっている。2024年には627人の自然減となり、減少幅が拡大している。なお、合計特殊出生率は2018年から2022年の間に1.28となっており、全国、愛知県と比較して低く推移している。

社会動態については、平成30年までは転出超過で推移し、以降は転入超過と転出超過の状態を繰り返している。

人口減少や少子高齢化が進むことで、若い世代が減少することによるまちの活力

の低下、高齢化の進展に伴う社会保障関係費の増加等により、地域社会の担い手の減少による地域経済力の低下や地域インフラの維持が困難になる等、様々な社会的・経済的な課題が生じる。

本市の特徴として、合計特殊出生率が低いことや晩婚化傾向がみられることがあげられる。しかし、一方では30歳代～40歳代前半及びその子ども世代の社会増加もみられていることから、若い世代を本市に呼び込み、定住を促進するための取組を進めることで、安定的な人口構造としていくことが可能と考えられる。

上記の課題に対応するため、本市の特徴を踏まえた上で、本計画において次の事項を基本目標に掲げ、子育て支援施策等を推進することで自然減を抑制していく取組、子育て世帯の転入促進と、雇用の創出等市内で働ける環境の整備等で社会減を抑制し、社会増を促進する取組、また、見守り・支え合える地域コミュニティづくりや人口規模に応じたまちづくり等をすすめることで人口減少・高齢化に対応する取組を進め、出来る限り人口減少に歯止めをかけ、活力ある、持続可能な地域づくりを実現していくことを目標とする。

- ・プロジェクト1 【働いてみた^{あ〜い}愛まち】活力あふれる産業とチャレンジできる環境
- ・プロジェクト2 【行ってみた^{あ〜い}愛まち】地域の魅力を共有し、賑わいを共感する
- ・プロジェクト3 【子育てしてみた^{あ〜い}愛まち】若い世代・子育て世代に選ばれる
- ・プロジェクト4 【住み続けてみた^{あ〜い}愛まち】誰もが便利で安全・安心

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市内総生産	140,921百円	148,000百円	プロジェクト1
	新規就農者数(累計)	3人	13人	
イ	「道の駅ふれあいの里HASUパーク」に満足している利用者の割合	【新規】	70%	プロジェクト2
	ふるさと応援寄附者数	4,492人	11,000人	
ウ	出生数	266人	300人	プロジェクト3

	18歳未満の子どもの人数	8,010人	7,200人	
エ	転入者数	1,923人	2,000人	プロジェクト4
	空家件数	639件	600件	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

愛西市総合戦略推進事業（プロジェクト）

- ア 【働いてみた^{あ〜い}愛まち】活力あふれる産業とチャレンジできる環境事業
イ 【行ってみた^{あ〜い}愛まち】地域の魅力を共有し、賑わいを共感する事業
ウ 【子育てしてみた^{あ〜い}愛まち】若い世代・子育て世代に選ばれる事業
エ 【住み続けてみた^{あ〜い}愛まち】誰もが便利で安全・安心事業

② 事業の内容

ア 【働いてみた^{あ〜い}愛まち】活力あふれる産業とチャレンジできる環境事業

本市の基幹産業である農業の振興に加え、新規企業の誘致、企業や第二創業の支援など、産業の振興による地域経済の活性化と自分らしい働き方に対するチャレンジの支援を行う事業。

【具体的な事業】

- ・スマート農業の推進
- ・新規就農への支援
- ・起業、第二創業に対する支援
- ・商工業活性化の推進 等

イ 【行ってみた^{あ〜い}愛まち】地域の魅力を共有し、賑わいを共感する事業

本市の自然資源、歴史・文化資源及び地域最大の観光交流拠点「道の駅ふれあいの里 HASU パーク」を活用した観光誘客を図る。また、あらゆる主体が連携して地域の魅力向上と発信に努め、関係人口・交流人口の拡大を図る事業。

【具体的な事業】

- ・「道の駅ふれあいの里 HASU パーク」を核とした観光イベント
- ・ふるさと応援寄附金の促進
- ・市内観光資源の活用
- ・SNS 等を活用した市の魅力発信 等

ウ **【子育てしてみた^{あ〜い}愛まち】若い世代・子育て世代に選ばれる事業**

結婚、妊娠・出産、子育てにいたるまでの切れ目のない支援体制を構築し、合計特殊出生率の上昇と出生数の増加を図るとともに、教育を通じて本市への愛着や誇りを持ち、次世代も暮らしたいと思えるまちづくりを行う事業。

【具体的な事業】

- ・地域全体で子育てを支える体制づくり
- ・地域交流拠点の整備・維持
- ・個別最適な学びの推進
- ・地元企業と連携した体験活動 等

エ **【住み続けてみた^{あ〜い}愛まち】誰もが便利で安全・安心事業**

防災・減災対策を推進するとともに、移住・定住の受け皿となる空家等対策に取り組み、すべての住民が安心して暮らすことができるまちづくりを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・地区計画等を用いた土地利用
- ・UIJ ターンによる移住起業支援
- ・地域防災力の向上
- ・地域が主体のまちづくりの推進 等

※なお、詳細は愛西市総合戦略（地方創生プロジェクト）のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

2,590,000千円（2026年度～2029年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月頃「愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」並びに「愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会」において、事業の実施状況の評価、検証を行う。その結果については、速やかに愛西市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2030年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2030年3月31日まで